

## 令和2年度 海洋スポーツセンター事業計画書

海洋スポーツセンター長 中村夏実

### I. 年度計画・目標

1. 海洋スポーツの普及を目的に、令和元年度の実施状況をふまえ、関連公開講座、学長杯オープンヨットレースを開催する。
2. 地域振興を目的に、地域海洋スポーツ関連事業に協力する。
3. 各事業において参加者数と満足度を調査し、地域ニーズを把握する。
4. セーリング競技等における競技力向上に関する合宿を開催する。
5. 協力者会議を開催し、年度を総括するとともに、海洋スポーツ研究第26号を発刊する。

### II. 事業計画（各事業の主担当者名／実施期間）

#### 1. 教育（授業に関するものを除く）プロジェクト

- (1) 指導者育成（主担当 中村／令和2年4月初旬、令和3年3月中旬）  
自然体験活動指導者（NEALリーダー）資格取得講習会の開催  
日程調整がつかず実施ができなかった、令和元年度開催分（4月初旬開催）と令和2年度分（令和3年3月中旬開催予定）を実施する。
- (2) 小型船舶免許取得講習会の開催  
学内教職員・学生を対象とし、希望者5名程度以上の場合に実施

#### 2. 研究プロジェクト

- (1) 生涯スポーツとしてのSUP（スタンドアップパドルボード）が体力に及ぼす影響  
（主担当 中村・榮樂／令和2年 通年）  
海洋スポーツ活動のうち特にSUPを対象とし、SUP運動の体力特性を生理学的、運動学的観点から、生涯スポーツとしての健康増進効果を検討する。
- (2) カヌースプリント競技・ボート競技の効果的トレーニングメニューの検討  
（主担当 中村／令和2年 通年）  
パフォーマンス向上のためのトレーニングメニューに関する生理学的、力学的観点からの見直しと変更を実施し、実施回数やトレーニング頻度を加味した効果的なトレーニングメニューを検討する。
- (3) セーリング競技における指導者用テキストの作成（主担当 榮樂／令和2年 通年）  
セーリング競技における指導者用テキストのコンテンツ充実を継続する。コーチングの基礎資料とすることを目指す。

#### 3. 社会連携・社会貢献関係プロジェクト

- (1) 学長杯オープンヨットレース（主担当 榮樂・坂口・中村／令和2年8月30日（日）（予定））  
学長杯オープンヨットレースにて、ヨットレースに加え、他種目（カヌー、スタンドアップパドルボードなど）レースまたは体験会を実施する。
- (2) カノヤカップヨットレース大会協力  
（主担当 榮樂・坂口・中村／令和2年8月29日（土）（予定））  
鹿屋海洋スポーツクラブが主催するヨットレースへの運営協力、およびレース終了後の講習会（実技指導等）を企画する。

(3) 公開講座（中村・榮樂・坂口）

①公開講座 A：楽しいマリンスポーツ

（主担当 榮樂・中村・坂口／令和2年4月12日（日）～5月17日（日））

半日講座を4回および1日講座を1回で、計5回の講座を企画する。ヨットやカヌーを中心とし、経験の浅い者が、安全で楽しく継続した活動を行うために必要な知識と操船技術を学ぶことを目的とする。講座終了後、参加者自身でマリンスポーツを楽しめるようになることが理想で、参加者・応援者として活動できるな活動場所を推薦する。

②公開講座 B：楽しいスキューバダイビング（初級者編）

（主担当 中村・榮樂・坂口／令和2年5月13日（水）～6月28日（日））

プール7回（水曜日19時～21時）、海1回（日曜日9時～16時）で、計8回の講座を企画する。安全に楽しくスキューバダイビングを実施するための知識と技術を習得することを目的とし、講座終了後、参加者自身でマリンスポーツを楽しめるようになることを目指す。

③公開講座 C：少年少女楽しいマリンスポーツキャンプ

（主担当 榮樂・中村・坂口／令和2年7月31日（金）～8月2日（日））

安全に楽しく海浜活動・海洋スポーツ活動を行い、海洋スポーツの基礎技術の習得と磯観察等による環境学習を行う。また、2泊3日の宿泊を伴う活動を通して、仲間づくりや仲間とのコミュニケーションの取り方を経験する機会を提供する。

(4) 教職免許更新講習会（主担当 中村／令和2年7月22日（水））

バレーボール（午前中）、海洋スポーツ（午後）の時間割で、中学・高等学校教員を対象とした講座を実施する。

なお、教職免許更新講習会を開講する年においては、鹿児島県教員10年経験者研修（パワーアップ研修）の講座は開講しないこととしている。

(5) マリンフェスタ in かのやへの協力

（主担当 中村・坂口・榮樂／令和2年7月中旬（未定））

マリンスポーツ部門におけるイベントの企画・実施・運営を担当する。主な種目は、ヨット、ウィンドサーフィン、カヌー、スタンドアップパドルボードの4種目であり、ヨット部、ウィンドサーフィン部、カヌー部、ボート部学生の協力を得る。

(6) 大隅青少年自然の家との事業協力（主担当 中村・坂口・榮樂／令和2年 通年）

相互に、海洋スポーツ用具の使用および事業展開における人的交流をはかる。大隅青少年自然の家の海洋スポーツ関連事業に関する人的協力には、学外スポーツ実習への対応をしていただけるよう企画・調整する。

(7) 海洋スポーツによる「地域発イノベーションの創出」および地域連携の充実3

（重点プロジェクト産学官連携活動支援経費）（主担当 中村・榮樂・坂口／令和2年 通年）

錦江湾岸のマリンスポーツ振興が長期的に継続されることを目指し、関連施設および事業所等との連携体制の基盤を作ることを目的とする。指導者マニュアルの作成、プログラム提案を目指した踏査、海洋スポーツの健康増進効果に関する研究等を、各事業体と連携して推進することでその実現を目指す。成果については報告書にまとめる。

#### 4. その他

(1) 協力者会議の開催（主担当 中村・榮樂／令和2年12月7日（月）（予定））

現在のところテーマは未定。

- (2) 競技スポーツにおける強化合宿への協力（主担当 榮樂・中村）  
 セーリング競技における競技力向上のための合宿に協力する。現在のところ、開催の有無は決定していない。
- (3) 外部団体海洋スポーツ実習の受け入れ  
 業務に支障のない範囲で、教育団体と主とした外部団体の海洋スポーツ実習を受け入れる。その際、学外スポーツ実習の場として活用できることを原則条件とする。

### Ⅲ. 予算計画

#### 附属施設経費（海洋スポーツセンター経費）2,376 千円

##### 1. 教育プロジェクト 210 千円

区分	金額	算出内訳
人件費	50 千円	講師謝金 (@5000 円×5 時間×2 名)
物件費	0 千円	備品費、消耗品費 等
その他	160 千円	講師旅費（鹿屋－東京：80,000 円×2 回）

##### 2. 社会連携・社会貢献プロジェクト 120 千円

区分	金額	算出内訳
人件費	60 千円	学長杯運営補助賃金 (@800 円×75 時間)
物件費	60 千円	消耗品費 等
その他	0 千円	小荷物運送 等

##### 3. その他 2,046 千円

区分	金額	算出内訳
人件費	64 千円	協力者謝金 (@6,000 円×2 時間×2 名) 学生補助謝金 (@800 円×50 時間)
物件費	1,742 千円	燃料費、保守・修繕費、印刷製本費、その他管理運営費等
その他	240 千円	協力者旅費（鹿屋－東京：80,000 円×2 回） 職員研修旅費（鹿屋－東京：80,000 円×1 回）